

【わくわくワークス】“動物ずぼんぼ”の作り方

おうちでつくる紙工作「わくわくワークス」の作り方紹介、今回は、うちわであおいで宙に浮かせる江戸時代のおもちゃ「ずぼんぼ」の作り方です。



左が、近代美術館の館蔵品を元に作った「動物ずぼんぼ」です。左から、富田溪仙(とみた・けいせん)の「獅子猛進図」で作った獅子(しし)、岸竹堂(きし・ちくどう)の「虎図」を元にしたトラ、そして小茂田青樹(おもだ・せいじゅ)の「母子鹿」を使ったシカです。



右がずぼんぼの後ろ側です。

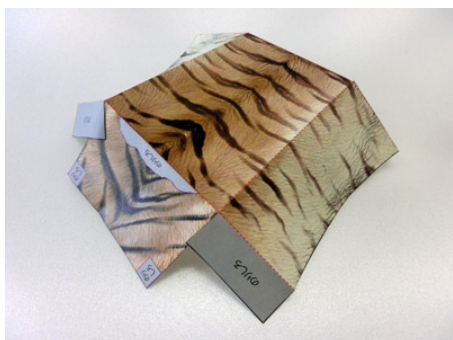


まずは、ずぼんぼの型紙を滋賀県立美術館のホームページからダウンロードしてください。「トラ」、「シカ」、「獅子(2枚組)」の3種類4枚あります。

ダウンロードした型紙は、家庭用のカラープリンタで印刷してください。プリンタが無い場合は、ダウンロードしたPDFをUSBメモリなどに収めてコンビニエンスストアに行けば、カラーコピー機で印刷できます(有料です)。またスマートフォンでダウンロードした場合は、各コンビニが勧めるアプリを入れれば、スマートフォンから直接、コンビニのカラーコピー機で印刷できます。詳しくは各コンビニエンスストアにご相談ください。

【ずぼんぼの組み立て方】

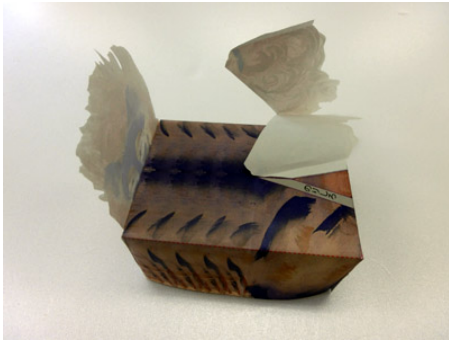
- ①印刷した紙から、型紙をはさみできれいに切り抜いてください。
- ②からだの部分は下の写真のように折って、箱のような形に組み立ててください。“のりしろ”には、はがれないようにしっかりと“のり”を付けてください。



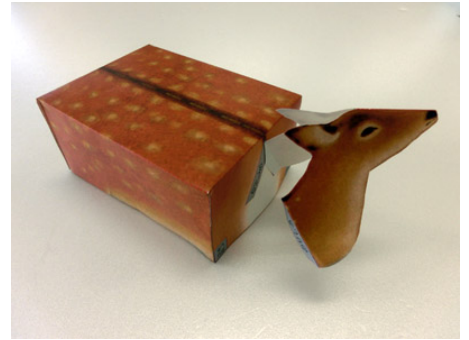
- ③あたまとしっぽをのりで取り付けてください。前後を間違えないように。



④シカのあたまとしっぽは、左の写真のように折り曲げます。

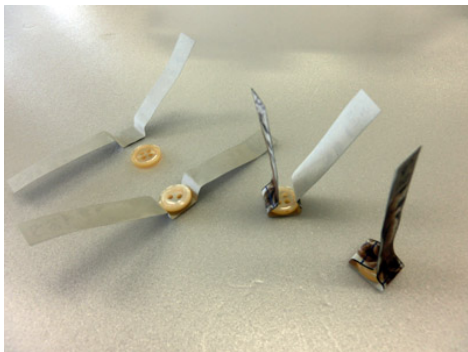
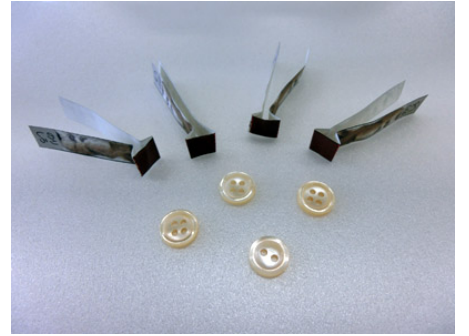


⑤あたまをからだに貼り付ける時は、左右の“のりしろ”を一度に貼らず、片方ずつ順番に貼った方がかんたんに貼れます。



⑥獅子のしっぽも同様に、左右の“のりしろ”を片方ずつ貼ってください。

⑦足は4本とも、右の写真のような形に折ってください。“重し”となる小さめのボタン（直径1センチ弱のYシャツのボタンくらいの大きさ）を、4つ用意してください。



⑧“重し”のボタンを、左の写真のように足の中に巻き込んで、足の前後をのりでしっかり貼り付けて閉じます。後でボタンが抜け落ちないように、のりでしっかり止めておいてください。

⑨4本の足を、右の写真のようからだに貼り付けたら完成です。なお江戸時代はボタンの代わりに、しじみ(貝)の貝がらを使ってずぼんぼを作りました。しじみの貝がらが手に入る場合はボタンの代わりに使っても構いません。



⑩ずぼんぼが完成したところ



【ずぼんぼの遊び方】



①ずぼんぼを部屋のすみっこに置き、うちわを横向き(左右方向)にあおいでください。

②風を受けて、ずぼんぼがふわりと浮き上がります。うまく浮かせるにはコツがあるので、あきらめずに何度も試してください。慣れてきたら、大人のあたまの高さくらいまで浮き上がります。



③横向きにひっくり返ったり、あたまやしっぽの方にそりかえるようなら、足の“重し”を調整してください。足に小さめのゼムクリップをはさむと、その足の重さが増します。あたまが重いようなら、うしろ足の重さを増してください。ちょうど良い重さにしてから再度チャレンジしてくださいね。

④もしもどうしても浮き上がらない場合は、浮かせるのではなくフローリングの床をすべらせて遊ぶ“ずぼんぼレース”を遊んでくださいね。